

早期景気観測調査

【2-3月期 調査結果概要報告書】

平成28年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年3月15日(火)～平成28年3月31日(月)
4. 調査対象： 当所会員153事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 105件
7. 有効回答率： 68.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2 - 3月期の動き】

業況は4期ぶりに改善に転じるも、改善は小幅に留まる。売上、採算は悪化が続き、不透明な状況が続く。

2-3月期の全業種総合業況DIは▲28.8（前期比+1.6ポイント）と、4期ぶりに改善に転じた。しかし、改善幅が小さいことに加え、売上DIは5期連続、採算DIは3期連続で悪化を続けており、景況は未だ本格的な改善とは言えない状況が続く。

また、仕入単価DIについては、前期から比較的好調といえる水準を維持している。原油価格の低下の恩恵を一部の事業所が受ける一方、食材や材料費の高騰は改善が進んでいない。

向こう3ヶ月の先行きについては改善の見通し。

業種別では、サービス業を除く4業種が前期から業況DI悪化。

また、売上、採算DIも業況DI同様に、サービス業を除く4業種で悪化している。

製造業の業況DIは▲17.2（前期比▲2.9ポイント）と、2期連続の悪化となった。売上・採算DIは前期から大幅に悪化し、仕入単価DIも再びマイナス水準に転じた。消費の冷え込みや、先行きの見通しが見えない状況に苦しむ声が聞かれた。

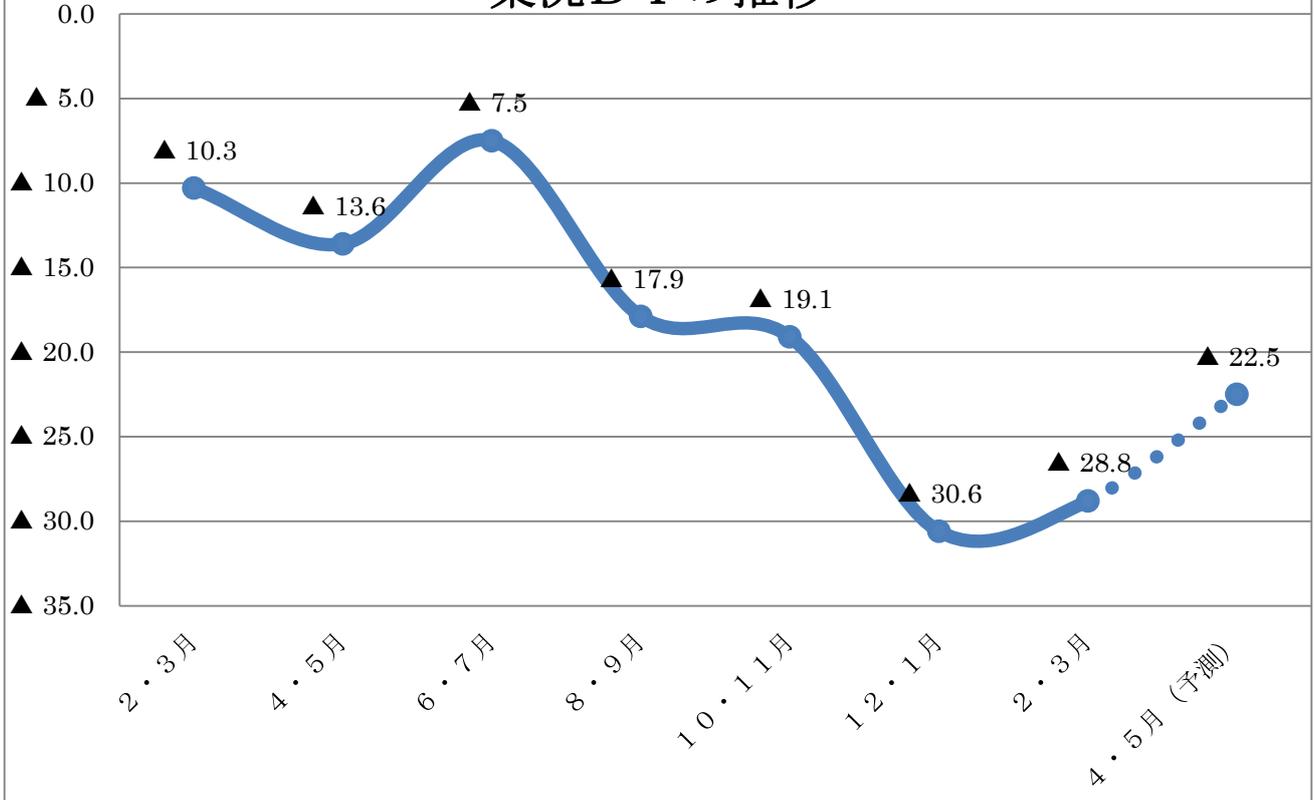
建設業の業況DIは▲53.3（前期比▲11.2ポイント）と、3期連続の悪化となった。売上DIは▲60.0（前期比▲2.1ポイント）と2期連続の悪化により、非常に低い水準へと落ち込んだ。従業員DIは26.7（前期比+26.7）と人手不足感が強まっていることに加え、公共・民間工事の減少により、業況改善の見通しが立たない。

卸売業の業況DIは▲22.2（前期比▲10.4ポイント）と、4期連続の悪化となった。売上・採算・仕入単価の各DIが悪化となり、中でも採算DIの悪化幅は▲50.7ポイントと非常に大きい。金融貸出DIは16.7（前期比+10.8）と大幅に改善。

小売業の業況DIは▲64.0（前期比▲4.7ポイント）と2期連続の悪化。売上（▲72.0）、採算（▲60.0）DIとともに5業種中最も低い水準にあり、依然として厳しい状況が続いている。

サービス業の業況DIは5.6（前期比+25.6ポイント）で、5業種中唯一の改善となった。売上・採算・仕入単価の各項目も改善に転じており、採算DIは5.6（前期比+35.6）と大幅な改善に転じた。観光シーズンの到来に期待の声もあるが、甲府地域はインバウンドの恩恵が無いとの声も聞かれる。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

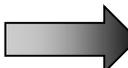
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。

◆全業種総合

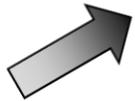
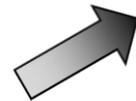
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲28.8	▲22.5	▲40.5	▲27.9	▲18.0	14.4	2.7

2-3月期の全業種総合の業況D I は、**▲28.8** (前期比+1.8ポイント) と4期ぶりに改善に転じた。しかし、改善は小幅であることに加え、売上D I は▲40.5 (前期比▲2.7ポイント) で5期連続、採算D I は▲27.9 (前期比▲5.4ポイント) で3期連続の悪化となっており、今一つ実態の伴わない業況改善になっている。改善傾向が続いていた仕入単価D I は前期から横ばいで▲18.0。従業員D I は11.7→14.4と、人手不足感が強くなったが、金融貸出しD I は2.7 (前期比+3.6ポイント) と改善に転じた。

向こう3ヶ月の業況は改善を見通している。

◆ 業種別

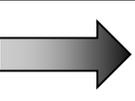
製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.2	▲13.8	▲27.6	▲13.8	▲3.4	13.8	0.0

業況DIは▲14.3→▲17.2と2期連続の悪化。また、今期は売上DI(▲7.1→▲27.6)・採算DI(0.0→▲13.8)の2項目が大幅に悪化した。仕入単価DIは0.0→▲3.4で4期ぶりに悪化となり、再びマイナス水準へと戻っている。従業員DIは13.8(前期比▲0.5ポイント)と前期からほぼ横ばいで、人手不足感が続くが、金融貸出しDIは▲3.6→0.0と改善した。

向こう3ヶ月の先行きは改善の見通し。

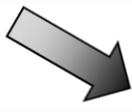
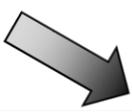
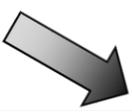
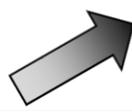
建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲53.3	▲53.3	▲60.0	▲40.0	▲20.0	26.7	6.7

業況DIは▲53.3(前期比▲11.2ポイント)と、今期で3期連続の悪化となった。売上(▲57.9→▲60.0)・採算(▲36.8→▲40.0)の各DIは前期からさらに悪化し、非常に低い水準となっている。また、改善が続いていた仕入単価DIも▲10.5→▲20.0と4期ぶりに悪化に転じているほか、従業員DIは0.0→26.7と人手不足感が急速に強まった。金融貸出しDIは0.0→6.7と改善。

向こう3か月の業況は横ばいの見通し。

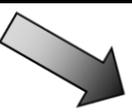
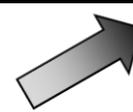
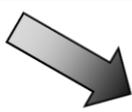
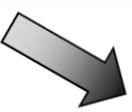
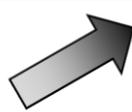
卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲22.2	▲33.3	▲50.0	▲38.9	▲11.1	16.7	16.7

業況DIは▲11.8→▲22.2と4期連続の悪化となった。また、売上DI(▲47.1→▲50.0)が3期連続の悪化となっているほか、採算DI(▲38.9)は前期比▲50.7ポイントの大幅な悪化となり、昨年の秋ごろからの業況悪化に歯止めがかからない状況だ。仕入単価DIも0.0→▲11.1と悪化に転じたほか、従業員DIも11.8→16.7と人手不足感が強まった。金融貸出しDIについては5.9→16.7と大幅に改善している。

向こう3ヶ月の見通しは▲22.2→▲33.3と悪化を見通している。

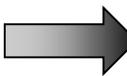
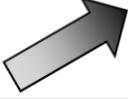
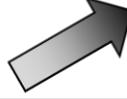
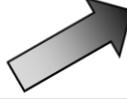
小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲64.0	▲32.0	▲72.0	▲60.0	▲36.0	8.0	0.0

業況DIは▲59.3→▲64.0と、2期連続の悪化。売上DIは2期連続の悪化で▲55.6→▲72.0、採算DIは3期連続の悪化となり▲51.9→▲60.0と、各項目とも極めて低水準を推移する。業況・売上・採算の各DI値は他の業種と比較して小売業が最も低調で、企業の声からも消費の冷え込み等、厳しい現状が窺える。その一方、仕入単価DIは▲40.7→▲36.0と3期連続で改善が続くほか、従業員DIも14.8→8.0と人手不足感は弱くなっている。

向こう3ヶ月の先行きについては、▲32.0と改善を見通している。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
5. 6	5. 6	▲5. 6	5. 6	▲27. 8	16. 7	▲5. 6

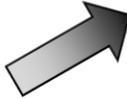
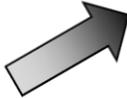
業況DIは▲20. 0→5. 6と3期ぶりに改善に転じ、マイナス水準を脱した。

今期は他の業種において業況・売上・採算DIが軒並み悪化する中、サービス業では唯一改善に至っている。売上DIは▲5. 6（前期比+24. 4ポイント）、採算DIは5. 6（前期比+35. 6ポイント）とそれぞれ大幅に改善した。仕入単価DIは観光関連の事業所を中心に原油価格低下の恩恵もあり、2期連続の改善となり、▲27. 8（前期比+7.2ポイント）となった。従業員DIは16. 7（前期比+1. 7ポイント）と人手不足の傾向を若干強めた。金融貸出しDIは悪化に転じた。

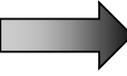
先行きについては今期から横ばいの見通し。

◆ 業種別詳細

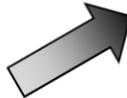
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

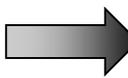
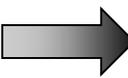
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

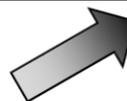
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

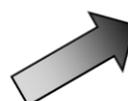
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

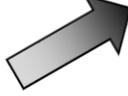
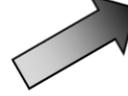
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

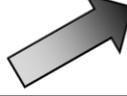
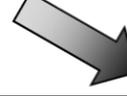
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

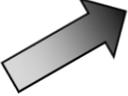
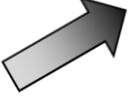
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

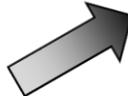
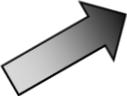
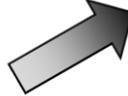
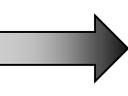
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・毎年1月～4月位までは“パンの売れる時期”と言われているが、今年は全くそれを感じる数字になっていない。
- ・昨年に引き続き、バス集客はとても厳しい状況。土、日における個人客も減少しており、売上高は横ばい。しかし、3年目に入った特定銘柄酒の売上が好調であり、わずかながら期待の持てる状況。
- ・2月は昨年並みの売上となったが、3月に入りプライダル、レストランチェーン、ホテルイベント等の引き合いが好調。東京の外食を中心に営業展開が効果あり。

製造業（家具）

- ・3月までは昨年と変わらないが、4月以降の予測は全くつかない。多分中国経済の減速、それによる世界経済の減速によって、景気は落ち込んでくるのではないかと心配している。

製造業（宝飾）

- ・平成26年4月以降、国内の宝飾品については消費の低迷が続いています。

【建設業】

建設業（土木）

- ・自治体発注工事は土木・建築とも減少する恐れあり、リニア関連、新山梨環状道路等は今年度予定発注工事において地元建設業者が受注する機会が無い。
- ・年度がわりであり、公共工事が予算の関係で減少、民間もこの余波で工事が少なく、建設業界は最悪になると思われる。

建設業（鉄鋼）

- ・官庁工事は終了し、民間の工事も減少している。
- ・貸出し金利が下がった。原材料単価は変わらず。

【小売業】

小売業（家電）

- ・前月と変わらず不景気。

小売業（趣味・日用品）

- ・日中でも銀座通りに人影が無いことがごく当たり前になってしまった。中心街の魅力づくりは個店から、を意識しましょう。
- ・気温や天候等、季節の変動による影響が大きいと実感。
- ・土日、祝日が特に悪いようだ。インバウンド効果も地方では期待できない。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- インバウンド客でにぎわう河口湖に比較し、国中地区は厳しい。
- 冬からの脱出、信玄公祭りに期待！！観光客もどるきざし
- 昨年と比較し多少好転していますが、食材費、寝具クリーニング代などの値上がりがあり、採算が良くなっていると感じない。夕食など提供している小さな旅館は安売りのスーパーに買出しに行くと聞いております。

サービス業（観光）

- 昨年のバス事故以来、バスの団体客が減っているようだ。
- 原油価格の低下による仕入れコスト削減の傾向が続いている状況。

サービス業（飲食その他）

- 飲食店組合の会合の話では他店はやや2～3月と例年を下回るようであるが、当店は2月がやや上向き3月はとても多忙の流れ。
- 4月までは歓送迎会で人の動きも好調だが、5月の大型連休以降は読みにくい。

以上